

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮)北区白新町1丁目学生マンションA棟 新築工事 新潟県新潟市北区白新町1丁目3909他 商業地域、準防火地域 集合住宅 2022年3月 竣工 998.98 m ² 593.32 m ² 2,959.46 m ² 地上5F RC造 実施設計段階評価 2021年8月16日	
---	--	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{45.1}{44.4} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.0		バリアフリー計画	3.0
			維持管理	3.0
			設備の更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.0		耐震・免震・制震・制振	3.0
			信頼性	3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	4.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全と創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	2.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

内装・外装の耐用年数が長いものを採用して建物の長寿命化を図っている。
 内装は清掃・維持管理がしやすいように設計されている。
 節水型の機器やグリーン購入法適合品を積極的に採用し、水資源の保護やリサイクルを促進し環境負荷の低減を図っている。

CASBEE®新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)北区白新町1丁目学生マンションA棟 新築工事	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市北区白新町1丁目3909他	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	90人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 竣工	評価の実施日	2021年8月16日
敷地面積	999㎡	作成者	渡辺 邦夫
建築面積	593㎡	確認日	2021年8月16日
延床面積	2,959㎡	確認者	渡辺 邦夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 各室に十分な大きさの窓を設置して自然光が室内に取り入れられるようになっている。また、自然換気も十分に行える。外壁や内装は耐用年数の長いものを積極的に採用し、建物の長寿命化を図っている。		その他 特に無し
Q1 室内環境 採光が十分になされる窓を各住居にとりつけている。窓の大きさは居室の1/6以上あり、自然換気性能の向上がなされている。	Q2 サービス性能 壁や床の仕上げはできる限り統一管理ししやすいように考慮されている。また、材料は耐用年数の長いものを採用して長期的に管理・維持できるようにされている。	Q3 室外環境(敷地内) 景観になじむような色の外壁を採用している。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費量は省エネ基準を満たす設計がされている。全面的にLED照明を採用している。	LR2 資源・マテリアル 節水型の器具・グリーン購入法適合品を積極的に採用している。	LR3 敷地外環境 駐輪場を十分に設置して入居者の自転車利用を促進する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される